

○行政センター・連絡所、本庁各所属にタブレットを配置し、行政センターDXを推進します。

★窓口DX：行政センター窓口と本庁窓口をビジュアルでつなぎ、丁寧な対応を図ります。

⇒ 市民の皆様から寄せられるご相談に対し、行政センターのワンストップサービス機能を強化し、最寄りの行政センターで完結することを目指します。

★現場DX：行政センター職員と本庁職員がリアルタイムに連携し、迅速な対応を図ります。

⇒ 市民の皆様からご提供された情報に対し、地域に密着した行政センターの特徴を生かし、本庁職員と連携し、迅速に対応することを目指します。

1 これまでの取り組み

2022(令和4)年6月、富田行政センター及び本庁3所属でスモールスタート。

(収納課、国民健康保険課、国保税収納課)

行政センターと本庁をタブレットでつなぎ納税相談等に対応。

2 本格運用開始日

2022(令和4)年11月1日(火)

※県内中核市初

3 配置所属等

(1) 行政センター14か所(各2台)・連絡所4か所(各1台)

(2) 本庁 市民課、資産税課、収納課、国民健康保険課など28所属(各1台)

計60台

4 活用具体例

(1) 窓口DX： 窓口を訪れた市民の方と本庁の職員が、お互いの顔を見ながら通話・相談。

(2) 現場DX： 道路の損傷など、市民の皆様から寄せられた情報に、行政センター職員が直接現場を確認。現場状況を本庁の職員とリアルタイムで共有し、迅速に対応。

